

単元構想図作成ガイド ～ 作成の手順とポイント ～

1. 単元の目標を記入する

現行の学習指導要領より国語科は5観点から必要なものを記入し、算数・数学科は4観点で記入する。

2. 既習内容と児童生徒の実態を押さえる

単元構想を行うに当たって押さえておくべき既習内容と、学習活動を設定していく上での児童生徒の実態を記入する。

3. アクティブ・ラーニングの視点に立った単元構想をする

「授業づくりのポイント集」を参考に、単元のまとまりの中で「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」をどのように実現するか、大まかに計画する。

4. 単元の段階を設定する

「見通し」「課題解決」「振り返り」の3段階で設定する。

- ・「見通し」の段階では「主体的な学び」に重点を置く。
- ・「課題解決」の段階では主に「対話的な学び」「深い学び」に重点を置く。
- ・「振り返り」の段階では「主体的な学び」「深い学び」に重点を置く。

数学科単元構想図 中学校第1学年 資料の分析と活用 (東京書籍:新編 新しい数学)

単元の目標		見方や考え方の観点	技能	知識・理解	
<ul style="list-style-type: none"> 資料の傾向や特徴について、資料を整理したり、ヒストグラムや代表値などを用いて資料の傾向を読み取ったりするなど、数学的に考え表現することに関心を持ち、問題の解決に数学を活用して考えたり判断したりしようとしている。 		<ul style="list-style-type: none"> ヒストグラムや代表値などについての基礎的・基本的な知識を活用して、論理的に考え表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料を表やグラフに整理したり、代表値を求めたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ヒストグラムや代表値の必要性と意味、誤差や近似値の意味を理解することができる。 	
既習内容		アクティブ・ラーニングの視点に立った単元構想			
<p>(小学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> 棒グラフ、折れ線グラフ、帯グラフ、円グラフの読み方、かき方 測定値の平均 度数分布の表と柱状グラフの読み方、かき方 統計的平均の意味 <p>(中学校1年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 正の数・負の数 計算 原素 		<p>本単元では、収集した資料を整理し、その傾向を読み取る能力を育成する。1つの事例を基に目的に応じて資料を集め、その傾向を的確に読み取ることができるように学習を進める。</p> <p>日常生活や社会生活の場面に関連した問題を提示することで、興味・関心を高め、目的意識を持って学習に取り組ませる。毎時間、分かったことやできるようになったことなどを振り返らせ、次の学びにつなげる。グループで資料を整理する際には、役割分担し効率的に行わせる。資料の特徴を捉え、どの代表値を用いるべきかを判断し、説明し合う学習活動を設定する。</p> <p>【主体的な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> 興味・関心を高めるために、総合的な学習の時間に次年度の校外学習の自主研修の計画を立てていることと結びつけて問題を提示する。 問題提示の場面では、資料の分析の必要性を感じさせ、興味・関心を高める。に、日常生活や社会生活などの場面から資料を提示し、整理させる。 単元・振り返りの段階では、分かったことやできるようになったこと、考えたことなどを記述させる。(第1・3・9時) <p>【対話的な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料を処理し、最終的な判断をする際には、グループで、自由に納得のいく判断になるように話し合わせる。 適用問題を解いた後に、解き方や考え方をペアで説明し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動を設定する。(第2・4・8時) <p>【深い学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常生活や社会生活の場面に関連した資料を用い、目的に応じて資料を分析し、根拠を示しながら説明する学習活動を設定する。(第5・6・7時) 			
学習計画					
段階	項目	本時の目標	学習活動	アクティブ・ラーニングの視点に立った授業づくりの工夫	目指す生徒の姿
見通し	資料を柱状グラフ(ヒストグラム)で表すと、分布の様子が見えやすくなることを理解する。	資料を柱状グラフ(ヒストグラム)で表すと、分布の様子が見えやすくなることを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 問題を捉える。(教科書P207Q) 課題を把握する。 予想する。 資料を確認する。(教科書P220) 資料の整理の仕方を既習事項を基に考える。 Aのルートの資料を柱状グラフで整理する。 「階級、階級の幅、度数、度数分布表、ヒストグラム」という用語を知る。 学習したことを振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題を捉える。(教科書P207Q) 課題を把握する。 予想する。 資料を確認する。(教科書P220) 資料の整理の仕方を既習事項を基に考える。 Aのルートの資料を柱状グラフで整理する。 「階級、階級の幅、度数、度数分布表、ヒストグラム」という用語を知る。 学習したことを振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> 平均所要時間が同じだから、どちらでも同じだと思います。
	資料の傾向や特徴を読み取る能力を育成する。	資料の傾向や特徴を読み取る能力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> 興味・関心を高める 総合的な学習の時間に次年度の校外学習に向けた計画を立てていることと結びつけて問題を提示する。 AのルートとBのルートでどちらがよいか予想させることで、平均の時間だけでは比べることができず、資料を整理して分析する必要があることを実感させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 興味・関心を高める 総合的な学習の時間に次年度の校外学習に向けた計画を立てていることと結びつけて問題を提示する。 AのルートとBのルートでどちらがよいか予想させることで、平均の時間だけでは比べることができず、資料を整理して分析する必要があることを実感させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 平均だけで判断していいのかな。ほかに何か情報はないのかな。
	資料を整理し、その傾向を読み取る能力を育成する。	資料を整理し、その傾向を読み取る能力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> 資料を整理し、その傾向を読み取る能力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料を整理し、その傾向を読み取る能力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料をヒストグラムで表すと分布の様子が分かりやすかった。今回の場合だと33～36分と45～48分のところに2つの山ができていますね。なぜだろう。
課題解決	資料の傾向や特徴を読み取る能力を育成する。	資料の傾向や特徴を読み取る能力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> 資料を整理し、その傾向を読み取る能力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料を整理し、その傾向を読み取る能力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 平均だけで判断していいのかな。ほかに何か情報はないのかな。
	資料の傾向や特徴を読み取る能力を育成する。	資料の傾向や特徴を読み取る能力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> 資料を整理し、その傾向を読み取る能力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料を整理し、その傾向を読み取る能力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 平均だけで判断していいのかな。ほかに何か情報はないのかな。
振り返り	資料の傾向や特徴を読み取る能力を育成する。	資料の傾向や特徴を読み取る能力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> 資料を整理し、その傾向を読み取る能力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料を整理し、その傾向を読み取る能力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 平均だけで判断していいのかな。ほかに何か情報はないのかな。
	資料の傾向や特徴を読み取る能力を育成する。	資料の傾向や特徴を読み取る能力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> 資料を整理し、その傾向を読み取る能力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料を整理し、その傾向を読み取る能力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 平均だけで判断していいのかな。ほかに何か情報はないのかな。

5. 1 単位時間の授業を構想する

「単元の目標」に向かって、児童生徒が「どのように学ぶか」に焦点を当て構想していく。

学習活動

- ・問題を捉える。(教科書P207Q)
- ・課題を把握する。
- ・予想する。
- ・資料を確認する。(教科書P220)
- ・資料の整理の仕方を既習事項を基に考える。
- ・Aのルートの資料を柱状グラフで整理する。
- ・「階級、階級の幅、度数、度数分布表、ヒストグラム」という用語を知る。
- ・学習したことを振り返る。

アクティブ・ラーニングの視点に立った授業づくりの工夫

- ・興味・関心を高める
 - 総合的な学習の時間に次年度の校外学習に向けた計画を立てていることと結びつけて問題を提示する。
 - AのルートとBのルートでどちらがよいか予想させることで、平均の時間だけでは比べることができず、資料を整理して分析する必要があることを実感させる。

目指す生徒の姿

- 平均所要時間が同じだから、どちらでも同じだと思います。
- 平均だけで判断していいのかな。ほかに何か情報はないのかな。
- 資料をヒストグラムで表すと分布の様子が分かりやすかった。今回の場合だと33～36分と45～48分のところに2つの山ができていますね。なぜだろう。

学習活動を設定する。

1 単位時間の授業の大まかな流れを考え「アクティブ・ラーニングの視点に立った単元構想」に関連する部分を把握する。

単元構想を授業づくりに生かす。

単元構想図冒頭部分の「アクティブ・ラーニングの視点に立った単元構想」を受け、1 単位時間で3つの学びのどの学びに重点を置いたのか、どのような目的で、どのような工夫を行うのかを具体的に記述する。

本時で目指す児童生徒の姿を記入する。

本時の目標に向かって児童生徒がどのように学んでいくのかを具体的にイメージしてする。「まとめ・振り返り」の段階で目指す児童生徒の姿を太線の吹き出しにする。

